

熊本県中学校総合体育大会 柔道競技大会要項

◇ 主催	熊本県中学校体育連盟	熊本県教育委員会	山鹿市教育委員会
◇ 期日	令和4年7月16日(土)	開始式 9:00	競技開始 9:30
	17日(日)	競技開始 9:00	
◇ 場所	山鹿市総合体育館		

1 競技名 柔道

2 参加資格

- (1) 県下中学校に在籍している生徒で、郡市代表と認められた単一校で編成されたチーム及び個人であること。
- (2) 引率責任者・監督は当該校の校長・教員・部活動指導員とする。教員・部活動指導員以外のコーチは校長の認めた者であり、熊本県中学校体育連盟にあらかじめ登録された者であること。
- (3) 参加生徒及びチームの引率者、監督、部活動指導員、教員外指導者等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等(以下、暴力等)により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていないものであることとする。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、教員外指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。

3 参加料 参加選手一人につき700円とする。参加申込後の返金はしない。

4 参加制限

(1) 団体戦

- ① 比例代表制により各郡市からの出場枠を決定する。(別紙「各郡市出場数一覧」参照)
- ② チーム編成は男子は、監督1名・選手5名・補員2名以内とする。
女子は、監督1名・選手3名・補員1名以内とする。

(2) 個人戦

- ① 男子は50kg級・55kg級・60kg級・66kg級・73kg級・81kg級・90kg級・90kg超級の8階級とする。
 - ② 女子は40kg級・44kg級・48kg級・52kg級・57kg級・63kg級・70kg級・70kg超級の8階級とする。
- ※ 各階級とも各郡市代表2名以内とする。ただし、熊本市はプラス2名の参加を認める。

5 競技規則

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定(2022年4月1日施行のルール)及び国内における「少年大会特別規定」による。
- (2) 柔道衣は白色とする。女子の黒帯使用は、白線なしの黒帯を使用する。
- (3) (公財)講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を使用すること。
※ 絞め技を禁止とする。施した場合は「指導」とする。「逆背負い投げ」(通称)、「両袖を持って施す投げ技」を禁止とし、かけた場合は、反則負けとする。但し、「両袖を持って施す投げ技」については両袖を持って出足払い、支釣込足等を施して、相手を背部あるいは上部側面から着地させることまで禁止するものではない。

6 競技方法

(1) 団体戦

- ① 男女とも各郡市代表16チームを4チームずつの4組に分け、各組でリーグ戦を行い、各組の1位と2位が決勝トーナメントに進み決勝トーナメントを行う。(同郡市は同組に入れず別パートに入れる。)
- ② 4月の県大会を考慮し、4チームをシードする。
- ③ 男子は1チーム5人制・女子は3人制により試合を行う。
- ④ チーム編成は男女とも体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。交代選手と入れ替えた場合においても、同様に体重順とする。試合毎の選手位置の入れ替え及び一度退いた選手の再出場は認めない。
- ⑤ 試合時間は3分間とし、代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
- ⑥ 勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」又は「僅差(『指導』の差2)」とする。
- ⑦ 優勢の成り立ちは次のとおりとする。【一本勝ち=反則勝ち > 技有 > 僅差】
- ⑧ リーグ方式では、チーム間の内容が同等の場合は引分けとする。また、リーグ方式の順位は次のとおりとする。
 - ア チーム間における勝ち、引分け、負けの率による。
 - イ アにおいて同等の場合は、勝ち数の合計による。
 - ウ イにおいて同等の場合は、勝ちの内容により決定する。
 - エ ウにおいて同等の場合は、負け数の合計による。
 - オ エにおいて同等の場合は、負けの内容により決定する。
 - カ オにおいて同等の場合は、1名による代表戦を1回行い決定する。
- ⑨ トーナメント方式の勝敗は、次の方法によって決定する。
 - ア チーム間における勝ち数による。
 - イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。
 - ウ イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。
- ⑩ 代表戦は任意の選手とし、判定基準は個人戦と同様とする。3分間の本選を行い、**技による評価が同等または、指導差1**の場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。

